



平成27年2月22日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ:http://www.tfd.metro.tokyo.jp

主な掲載内容

- <1面> ストープ火災に注意!
 - <2面> 救急車の適正利用をお願いします! <救急相談センター/救急受診ガイド/応急手当の手順>
- 春の火災予防運動 Miniコラム プレゼントコーナー

Q 火災の原因として一番多いストーブは?

1.石油ストーブ



2.ガスストーブ



3.電気ストーブ



都民へのアンケート*では、火災発生の危険性が高いと思う暖房器具は、80%の人が「石油ストーブ」と答えています。続いて「ガスストーブ」「電気ストーブ」の順となっています。*東京都「ストーブの安全な使用に関する調査」より

しかし、実際に多くの火災の原因となったのは…

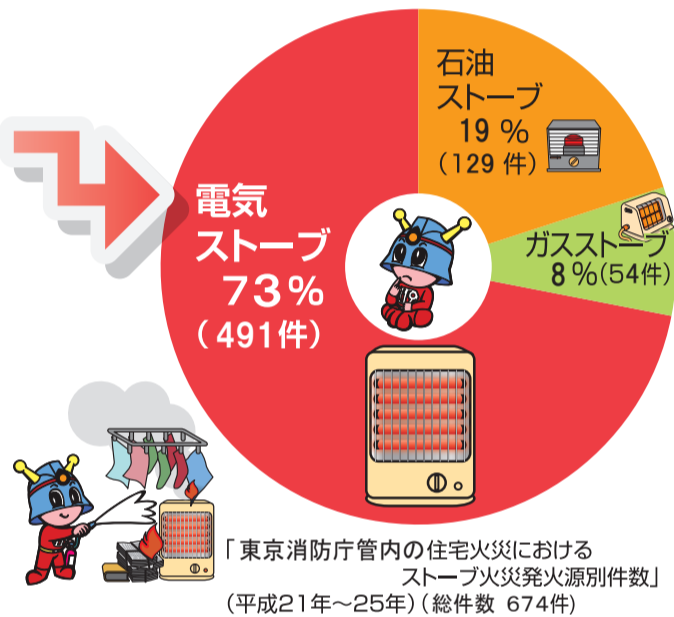


A 電気ストーブです! ストープ火災の7割を占めています。

平成21年～平成25年の5年間で、ストーブから出火した住宅火災の7割以上が電気ストーブ(カーボンヒーター、ハロゲンヒーター等含む)が原因です。死者も5年間で33人と多数発生しています。

電気ストーブは、給油等の手間がかからないことから、手軽で安全にみえますが、**誤った使い方をすると危険**です。特に寝具類や衣類、洗濯物などが接触して出火した火災が、電気ストーブで多く発生しています。

火災を防ぐポイントを再確認し、尊い命を守りましょう。



ストーブの火災実験映像<東京消防庁>



火災を防ぐポイント(電気ストーブ編)

電気ストーブの周りに、物を置かない!

布団、衣類、雑誌などの可燃物をストーブのそばに置かないようにしましょう。また、ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさないようにしましょう。



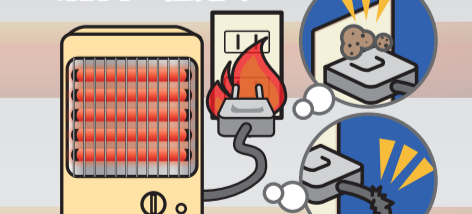
寝る時、離れる時はスイッチを切る習慣を!

電気ストーブ火災は、夜中から明け方にかけて最も多く発生。寝返りなどで布団がストーブに接触するおそれがあります。寝る時はスイッチを切り、使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。



電源プラグや電源コードの清掃・点検を!

電源プラグにホコリがたまらないよう、こまめに清掃しましょう。転倒オフスイッチ等の安全装置が付いているかを確認しておきましょう。



春の火災予防運動

3月1日(日)～3月7日(土)

平成26年度 東京消防庁防火標語
うれしいね 防火で笑顔の人と町

作者 入月 千代子さん(世田谷区在住)



その電話、救急ですか？

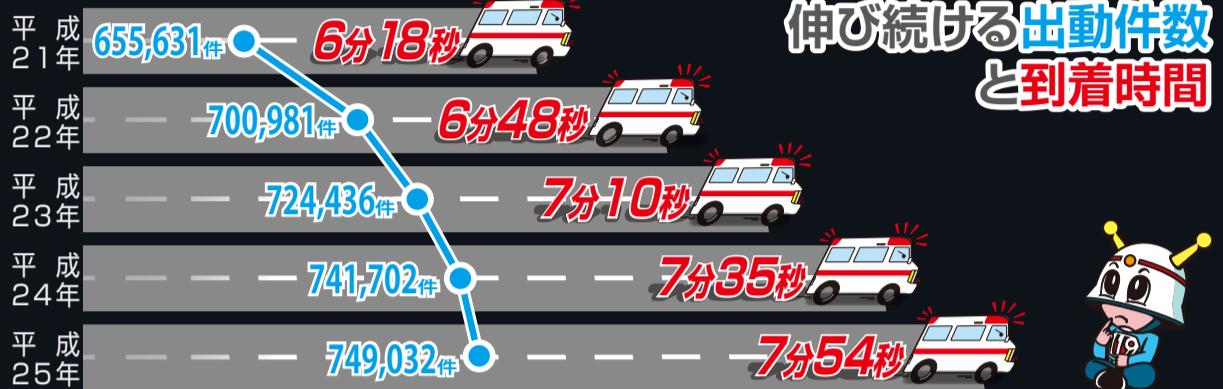
急なけがや病気の時、すぐ近くの消防署から救急車が来てくれる…とは限りません。

東京消防庁管内での、救急車の出動件数が年々増加。多くの救急車が出動中となり、もしもの時に近くの消防署に待機中の救急車がないことも。遠くの救急車が出動し現場への到着に時間がかかってしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。

救急搬送された方のうち、入院を必要としない症状の割合は50%を超えています。緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等のご利用をお願いします。

救急車を呼ぶべきか?迷った場合には、安心サービス「救急相談センター (#7119)」や「東京版救急受診ガイド」をご利用ください。

その電話、救急ですか?今一度考えてみませんか。



伸び続ける出動件数と到着時間

救急車を呼ぶべきか?迷ったらこちらのご利用を! この部分を切り取り、財布などに入れてお持ちください。三つ折りにすると携帯しやすいカードサイズになります。

電話で相談
病院へ行くべきか?迷ったら救急車を呼ぶべきか?

東京消防庁 救急相談センター
#7119

【24時間受付・年中無休】
携帯電話 PHS ブッシュ回線
つながらない場合は…
23区 03-3212-2323
多摩地区 042-521-2323

相談医療チームが、症状に基づく緊急性の有無、受診の必要性に関するアドバイスや診療可能な医療機関を案内しています。

ネットでガイド
東京版 救急受診ガイド

病気やけがの緊急度や受診する科目が東京消防庁ホームページで確認できます!
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

携帯電話は **こちらから**
スマートフォンは **こちらから**

応急手当の手順
倒れている人を見かけたら

- 1 肩をたたきながら声をかける
- 2 大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼
- 3 普段通りの呼吸がなければ、胸骨圧迫(胸の真ん中あたりを強く押す)
- 4 AEDが到着次第、電源を入れ使用(使い方はAEDが音声で教えます)

AED AEDはどなたでも使えます。操作も簡単!活用を!

Mini コラム **消防技術安全所って どんなところ?**

「消防技術安全所」では、都民の安心・安全を守るとともに、災害現場における隊員の安全確保と効果的な活動を推進するため、科学的な技術改良・検証等を行っています。また特異災害が発生した場合には、災害現場へ出場し、試料の採取・分析や現場指揮本部に対する科学的助言等の活動支援を行っています。

毎年、「消防技術安全所一般公開」と題して、各種検証成果の展示、燃焼実験や化学実験等の実演、はしご車の搭乗体験等を行っていますので、奮ってご来場ください。

消防技術安全所一般公開のご案内 <入場無料・事前申し込み不要>
■場 所 消防技術安全所(渋谷区幡ヶ谷1-13-20)
■日 時 平成27年4月18日(土) 10:00~16:00
※詳細は、3月末頃、消防技術安全所ホームページに掲載予定です。
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gijyutuka>

燃焼実験の様子

はしご車の搭乗体験

春の火災予防運動 3/1▶3/7

ポスターにご登場いただいた女優・歌手のすみれさんからのコメントをご紹介します。

今回、春の火災予防運動のポスターモデルをさせていただくことになり、防火防災について今まで以上に意識するようになりました。

この時期は空気が乾燥して火災が発生しやすいので、みなさんもお料理をする時や、暖房器具などを使う際は十分気を付けて、火災予防をして下さいね。(すみれ)

▲平成27年 春の火災予防運動ポスター

お楽しみ プレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に「東京消防庁オリジナル 温度計機能付きアラームクロック」をプレゼント!!

<応募方法>ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。
〒100-8119 (住所不要)
東京消防庁広報課「広報とうきょう消防」編集担当

<締 切>平成27年3月9日(月)必着
(応募はお1人様につき1枚とさせていただきます。)

<当選発表>プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。
※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用させていただきます。
前回(第15号)プレゼントコーナーへのたくさんのご応募ありがとうございました。

アラーム9種類、カラントナー温度計付きデジタルクロック!

好評につき 第2弾!